

4 協議事項

(1) 令和 6 年度資料館事業について

浜田郷土資料館

金城民俗資料館・金城歴史民俗資料館

浜田城資料館

令和 6年度 浜田市浜田郷土資料館事業計画書

1. 展示事業

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 第一次常設展
【併設コーナー展】 | 浜田の歴史展 4月 5日(金)～ 5月31日(金)
『 令和5年度市民寄贈資料披露展 』
(民具、古文書、古書籍、古写真、古地図、その他) |
| (2) 第二次常設展
【併設コーナー展】 | 浜田の歴史展 6月20日(木)～ 8月20日(火)
『 新1万円札の顔は渋沢栄一 』
～ 渋沢の登場はこれが2回目 この札を含め明治以降の札を展示 ～ |
| (3) 第三次常設展
【併設コーナー展】 | 浜田の歴史展 9月15日(日)～12月15日(日)
『 僕のこだわり展 』 partⅢ
～ 楫ヶ瀬 孝の蛇胴古紙作品の魅力～ |
| (4) 第四次常設展
【併設コーナー展】 | 浜田の歴史展 1月 4日(土)～ 3月15日(土)
続・『 懐かしい、明治・大正・昭和の古民具と
風景・風俗パネル写真展 』 partⅡ
(学童見学対象展示品を含む) |

* 各常設展では、浜田の歴史展に併せて一部コーナーの特色を出す。

* 企画展示等の内容及び期日については、都合により変更することがある。

2. 資料収集調査事業

- | | |
|----------|---|
| (1) 資料収集 | 資料購入及び個人、団体からの寄贈受付。 |
| (2) 資料調査 | 適正な資料購入及び寄贈受付を図るため、
事前に資料等の調査、検討を行う。 |
| (3) 資料整理 | 写真撮影、資料分類、カード記載登録等。 |

3. 友の会活動育成事業 (月1回開催) 会員登録数: 39名 (令和6年3月末現在)

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 普通例会(会員発表) 7回 | (4) 講演会 1回 |
| (2) 現地研修旅行(日帰り) 1回 | (5) 総 会 1回 |
| (3) 講話 1回 | (6) 自由発表 1回 |

4. ボランティア活動育成事業 会員登録数: 10名、活動保険加入 (令和6年3月末現在)

- (1) 展示物の案内、解説、監視。
- (2) 軽量寄贈品の搬入・搬出、簡単な補修。
- (3) その他

令和 6 年度 金城資料館事業計画

【展示関係】

◎ 民俗資料館（開館 51 年）

- ・ 常設展 「石見の山村生産用具展」
- ・ 常設展 「石見の山村生活用具展」

◎ 歴史民俗資料館（開館 46 年）

- ・ 常設展 「石見のたたら製鉄」(1 階展示室)
- ・ 常設展 「チベット巡礼探検家能海寛展」(1 階展示室)
- ・ 企画展 「明治期の日本坑法に見るたたら製鉄」 —浜田県時代のたたら製鉄—
(歴史館 2 階展示室)

会期 2024 年 6 月 1 日(土) ～ 2024 年 12 月 28 日(土)

※「波佐まると博物館」の推進を図るためスタンプラリーを実施する。

【広報関係】

「かなぎ民俗」の発行(4 回程度)。文化財啓蒙啓発の発信を図る。

【文化財保護活動】

◎ 文化財防火デーに合わせて自衛消防隊員による「消防総合訓練」を実施する。

実施日予定日 2025 年 1 月 25 日(土)

【民俗資料回想セラピー】

- ◎ 福祉施設、高齢者クラブと連携して、認知症の予防抑制に「民俗資料回想セラピー」を推進する。

【資料整備】

- ・緒職用具の市指定文化財へ向けての取り組み(継続)。
- ・能海寛歴史資料の県指定に向けての整備。

【客員研究員制度】

大学院へ所属して、当資料館の資料を活用して、博士論文、修士論文を著作する客員研究員の受入事業を推進する。(部門：民俗学・考古学・歴史学・冶金学・能海学)

【出前講座】

- ◎ 資料館での民具学習とパワーポイントによる映像学習。出前講座も積極的に推進する。
- ◎ 市内各小学校へ文化財全般にわたる「課外授業」の受入れ周知 PR を行ない積極的に推進する。

【日常管理】

コロナ感染症予防対策の徹底。
来観者の傷害保険の加入。
館庭の草刈清掃(毎月一回)
積雪期の除雪作業。

令和 6 年度 浜田城資料館事業計画書

1 展示事業

(1) 展示について

展 示 名	期 間	内 容
企画展（前年度継続） 浜田の城下と港	2/10（土）～ 5/26（日）	城下の運営の様子と城下を支えた港の流通について紹介します。
企画展 切図から見た城下町 —明治時代の浜田市街地—	6/8（土）～ 9/29（日）	明治時代に作成された切図から江戸時代の城下町について探ります。 また、北前船寄港地の旅をシリーズで紹介します。
ミニ企画展 日本遺産 北前船寄港地の旅 東北・北陸（1）篇		
開館 5 周年特別展 御便殿 —明治 40 年の山陰行啓と浜田—	10/12（土）～ 1/26（日）	浜田城資料館として活用している歴史的建造物・御便殿について、その歴史と特徴を紹介します。
企画展 浜田城とその城下	2/8（土）～ 5/25（日）	これまで資料館で展示してきた成果を踏まえながら浜田の城、町、港について紹介します。 また、北前船寄港地の旅をシリーズで紹介します。
ミニ企画展 日本遺産 北前船寄港地の旅 北陸（2）・山陰・四国篇		

(2) 利用状況について（令和 6 年 4 月 1 日～6 月 30 日現在）

展 示 名	期 間	入館者数	開館 日数	1 日平均 入館者数
企画展 浜田の城下と港	4/1～5/26	1,403 人	48 日	29.22 人
切図から見た城下町	6/8～（6/30）	244 人	20 日	12.20 人
合 計		1,647 人	68 日	24.22 人

2 普及事業

(1) 企画事業について

展示内容や季節などに関連するテーマを設け、館内において、来館者が参加できる事業を企画して実施する。

なお、令和 3 年 3 月から実施している「みんなで咲かせよう！さくらの木」については開催している。

また、開館 5 周年特別展「御便殿」に合わせて、専門家によ

る御便殿（浜田城資料館）の見学会を開催する予定である。

(2) 学習関係事業について

学習会や見学会を計画する。

(3) 関連事業について

市民や団体による資料館や浜田城、北前船に関連する事業などに協力することにより、資料館の利用や歴史文化の理解が深められるように対応する。

なお、5月には NPO 法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会と裏千家淡交会石見支部による「浜田城山茶会」の開催に協力している。

3 P R 事業

展示に関わる P R を除き、浜田城、日本遺産・外ノ浦、御便殿を紹介するパンフレットを印刷、配布して周知を図る。

また、H P やインスタグラムによる情報発信を行う。